

産業医慢性痛研修会

日時

2024年10月27日（日曜日）

10:00~12:00

会場

川崎医科大学附属病院

臨床教育研修センター 演習室6

（倉敷市松島577）

演題1

企業・健保で取り組む痛み対策

内田洋行健康保険組合保健師/聖路加国際大学 臨床准教授

舟久保 恵美 先生（WEB登壇）

近年、腰痛、肩こり、頭痛などの痛みと労働生産性、プレゼンティーズムとの関係性が明らかになってきている。当健保組合は、グループ企業18社のストレスチェックを請け負っている。その結果から、頭痛、肩の痛み、腰痛などの有訴者は、高ストレス者で高い割合を占め、ストレスと痛みとの関係を示唆する結果を得た。経産省の健康経営優良法人の審査項目にも、従業員の生産性低下と、痛みとの関連に着目した設問が入るようになった。今回、産業保健現場での痛み対策についてお話したい。

演題2

天気痛のメカニズムと対策

愛知医科大学 客員教授

佐藤 純 先生



慢性痛は天気の変化で症状が悪化することが多く、この病態は「気象関連痛」あるいは「天気痛」と呼ばれている。国内のアンケート調査によれば、慢性の運動器痛を持つ人の約25%が「天気が悪いとき、崩れるときに痛みが強くなる」と答えていることから、対象者は決して少なくない。また、演者とウェザーニューズらが行った「天気痛調査2023」において、この病態が就労、就学に悪影響を及ぼしていることが明らかになってきた。演者らの研究によってメカニズムが徐々に明らかになっており、治療法にも成果が上がりつつある。本講演では天気痛の特徴、考えられるメカニズム、演者が実践している有効な対処法について知見をお話する。

医師（産業医）研修会ですが、看護師、臨床心理士、理学療法士、薬剤師、医療系学生などの医療従事者、介護職の方など慢性痛に興味をお持ちの方は参加いただけます。事前申し込みをお願いいたします。

産業医の単位が必要な方は、**2024年10月10日 17:00までにお申し込みください。**

<https://forms.gle/oevZ1Np6jmdZ8F9bA>

お問い合わせ

川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科

E-mail : sentan@med.kawasaki-m.ac.jp

086-462-1111（内線26508）

日本医師会認定産業医制度 生涯研修 専門：2単位（予定）

